

特定非営利活動法人（NPO）ひらど海てらすについて

“NPO 法人ひらど海てらす”は平戸を愛し明るく笑顔のあふれる毎日が送れるよう、よりよいコミュニティづくりを目指す仲間たちが集まりました。

たくさんの方々の協力を頂きながらNPO法人の申請を行い6月に登記を終えたばかりの小さな団体です。

私たちは地域の方々をはじめ、平戸を訪れるたくさんの方々との出会いやつながりの輪を大切にし、この地元の美しい自然をたくさんの人々に知って（再認識）もらい、守り、共存していくこと。野、山、海、そして地元の利を生かした様々な文化交流や体験事業をとおして経済活動の活性化、交流文化の推進、地域に幅広く貢献することを目的とした団体です。

概要

平成29年07月空き家活用を目的に任意団体西風屋を発足（有志9名）

平成29年09月一部解体スタート（セルフビルド）

平成29年11月NPO法人化を検討

平成30年04月設立総会を開催、申請

平成30年05月 NPO認証

平成30年06月法人登記完了

役員（5名）

坂井 由加利（代表）、有安 勝也、VROLIJK REMCO EVER JAN（フロライク・レムコ）、今井 弥彦、後藤 彰文（監事）

会員（11名）※平成30年9月30日現在

特定非営利活動の種類・事業

(1) 社会教育の推進を図る活動	①青少年の健全育成及び生涯学習に関する事業
(2) まちづくりの推進を図る活動	②空き家問題を考え活用する事業
(3) 観光の振興を図る活動	③地元の利を生かした観光体験事業
(4) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	④農山漁村の交流及び耕作放棄地を生かした就農支援事業
(5) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	⑤文化・映画・芸術鑑賞事業
(6) 環境の保全を図る活動	⑥環境の美化、ごみの減量・リサイクルに関する事業
(7) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動	⑦世代・ジェンダー・職種を超えて市民同士の積極的な対話事業
(8) 国際協力の活動	⑧国内外の人々との文化交流事業
(9) 子どもの健全育成を図る活動	⑨青少年の健全育成及び生涯学習に関する事業
(10) 経済活動の活性化を図る活動	⑩お土産品開発・販売に関する事業 ⑪地域の情報発信事業

H30年度主な事業

◎空き家問題を考え活用する事業

平成29年07月にNPO法人をつくるきっかけになった空き家の有効活用を目的に有志による任意団体西風屋を発足。商店街の中にある3階建の旧白河屋旅館を人が集まる場所、自由に働ける場所、住民が活躍できる場所をめざし改装中。

家賃、光熱費、通信費、解体費（労働力）などは有志により負担をしています。

（平成29年7月～現在 自己資金50万円投入済み）

ひらど海てらすは1Fスペースを事務所兼無料の休憩所、誰でも案内所（外国人対応）、ワークショップの場として活用していく予定。

H30年度ろうきん長崎地区 補助金団体に選出。



◎地元の利を生かした観光体験事業

地元の自然を活かした体験事業を中心に地域住民と観光客やその他地域間との交流を主軸に置いた着地型のツアーなどを企画。

例）地元の海を知るツアー、地元生産者を訪ね作り手、生産物、消費者をつなぐツアーなど。

ツアーリザルト

8/26 「海シリーズ第1弾 海から平戸をみてみよう&野崎島」35名参加

9/8～9 AND九州平戸満喫ツアー（アクティビティ中心） 現地企画・アテンド 13名参加



◎国内外の人々との文化交流事業

事務所スペースでのワークショップの開催や地域の集いの場所と訪問客の案内所を兼ねることで地域内外の交流をはかる。依頼により案内・ガイド業務も請け負う。

積極的に外国人の対応をおこなう

(英語、中国語、オランダ語対応可能)



ツアーリー実績

7/29～30 オランダ・ベルギーツアーアテンド 14名

◎ひらど海てらすが提案・お手伝いできること

平戸中南部を活用したアクティビティ中心の観光体験や地元生産者や地域の方との交流を主軸とする地域密着型のワークショップやツアーの企画立案。(こども・大人向け)

→旅行業、自然学校のインストラクター経験者等在籍

他からの目線を取り入れながら地域の問題点や移住促進を考え今後の地域づくりに活用していく。

移住促進についてのツアー企画、ワークショップなど開催。

→会員はUターン・Iターン、市役所職員、生産者、モノづくり従事者など多種多様。

外国人に対応した案内業務、情報発信、地域密着型のツアーリー提案。

→オランダ語・英語・中国語対応可能



以上